

様式ID

NTA0KSA020010080



L01

令和

年分贈与税の申告書 第二表

(相続時精算課税の計算明細書)

修正申告の場合、右に「1」と記入します。

G01

受贈者の氏名

F04

G02

次の特例の適用を受ける場合には、左に「1」と記入してください。

私は、租税特別措置法第70条の3第1項の規定による相続時精算課税選択の特例の適用を受けます。

(単位：円)

住所

E01

フリガナ

E02

氏名

E03

申告者との続柄

G03

1:父 2:母 3:祖父
4:祖母 5:上記以外

5の場合記入

生年月日

元号

年

月

日

N01

種類・細目
区分コード

種類

細目

利用区分・銘柄等

財産を取得した年月日

元号

年

月

日

G04

E05

E06

E07

N02

所在場所等

財産の価額(円)

E08

G05

数量

単価(円)

(固)評価額(円)

倍数(倍)

C01

C02

G06

C03

種類・細目
区分コード

種類

細目

利用区分・銘柄等

財産を取得した年月日

元号

年

月

日

G07

E09

E10

E11

N03

所在場所等

財産の価額(円)

E12

G08

数量

単価(円)

(固)評価額(円)

倍数(倍)

C04

C05

G09

C06

種類・細目
区分コード

種類

細目

利用区分・銘柄等

財産を取得した年月日

元号

年

月

日

G10

E13

E14

E15

N04

所在場所等

財産の価額(円)

E16

G11

数量

単価(円)

(固)評価額(円)

倍数(倍)

C07

C08

G12

C09

財産の価額の合計額(課税価格)

②⑥

G13

特別
控除
額の
計算

過去の年分の申告において控除した特別控除額の合計額(最高2,500万円)

②⑦

G14

特別控除額の残額(2,500万円－②⑦)

②⑧

G15

特別控除額(②⑥の金額と②⑧の金額のいずれか低い金額)

②⑨

G16

翌年以降に繰り越される特別控除額(2,500万円－②⑦－②⑨)

③⑩

G17

税
額
の
計
算

②⑨の控除後の課税価格(②⑥－②⑨)【1,000円未満切捨て】

③⑪

G18

③⑪に対する税額(③⑪×20%)

③⑫

G19

外国税額の控除額(外国にある財産の贈与を受けた場合で、外国の贈与税を課せられたときに記入します。)

③⑬

G20

差引税額(③⑫－③⑬)

③⑭

G21

上記の特定
贈与者から
の贈与によ
り取得した
財産に係る
過去の相続
時精算課税
分の贈与税
の申告状況

受贈者の住所及び氏名は、「相続時精算課税選択届出書」に記載した住所・氏名と異なる場合にのみ記入します。

申告した税務署名

控除を受けた年分

元号

年分

受贈者の住所

受贈者の氏名

E17

L02

E18

E19

E20

L03

E21

E22

E23

L04

E24

E25

E26

L05

E27

E28

◎ 上記に記載された特定贈与者からの贈与について初めて相続時精算課税の適用を受ける場合には、申告書第一表及び第二表と一緒に「相続時精算課税選択届出書」を必ず提出してください。

なお、同じ特定贈与者から翌年以降財産の贈与を受けた場合には、「相続時精算課税選択届出書」を改めて提出する必要はありません。

(令和4年分以降用)